



各位

2024年10月29日

上場会社名 株式会社 テセック
代表者 代表取締役社長 田中 賢治
(コード番号 6337)
問合せ先責任者 取締役 戸田 雄介
(TEL 042-566-1111)

業績予想の修正及び株主還元策の転換並びに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2024年5月14日に公表した通期業績予想を修正いたしました。また、中期経営計画で掲げた株主還元策を転換するとともに、未定としておりました配当予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正について

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,200	1,440	1,580	1,080	195.29
今回修正予想(B)	5,700	380	480	340	61.38
増減額(B-A)	2,500	1,060	1,100	740	
増減率(%)	30.5	73.6	69.6	68.5	
(ご参考)前期実績(2024年3月期)	8,619	1,731	2,137	1,515	271.88

修正の理由

期初の業績予想において、テスト分野での堅調な事業環境が継続すること、ハンドラ分野における主要顧客からの受注が年内に一定程度回復することを前提としておりましたが、ハンドラ分野の回復が想定よりも遅れている状況を踏まえ、2024年5月14日に公表しました通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、当第2四半期(上半期)における米ドルの平均レートは149.6円となりましたが、下半期(2024年10月1日～2025年3月31日)の業績予想における想定レートは145円(下半期の為替感応度は、営業利益ベースで1円安に対し10百万円程度の利益増)としております。

2. 株主還元策の転換について

総還元性向35%を目安とした株主還元を掲げておりましたが、より安定した配当を実施する方針に転換いたしました。

転換の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、配当につきましては業績推移等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続を基本方針としております。

この基本方針の下、中期経営計画「Enjoy2.0」において、事業環境の継続を前提として、総還元性向35%を目安とした株主還元策を掲げておりましたが、上記1.に記載のとおり、通期の業績予想が想定を大きく下回ることから、当期の期末配当につきましては、下記3.に記載のとおり、より安定した配当を実施する方針に転換いたしました。

また、事業の特性上、今後も一定の業績変動が想定されることから、株主の皆様に安心して長期保有いただけるよう、2025年5月に公表予定の次期中期計画では、DOE(純資産配当率)を目安に、業績変動があっても安定的な株主還元を実現する方針といたします。

なお、自社株買いにつきましては、資金状況や株価の動向等を踏まえ、引き続き機動的に実施してまいります。

3. 配当予想の修正について

配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想(2024年5月14日発表)	未定	未定	未定
今回修正予想		70円00銭	70円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績(2024年3月期)	0円00銭	70円00銭	70円00銭

修正の理由

上記1.に記載のとおり、当期の業績は当初の想定を大きく下回る見込みですが、半導体市場の中長期的な成長期待や現在の財務状況等を勘案し、未定としておりました1株当たり期末配当予想を、前期と同額の70円といたします。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上